



大地の恵みを人が奏でる だれやめの郷

広報

いさ



「住みよさランキング」
2014 県内1位

(安心度：全国6位、住みよさ
九州・沖縄ブロック：15位)
【東洋経済新報社調べ】



◎特集 平成27年 伊佐市消防出初式

2015.2

ISA City Public Relations No.149



1月11日、「自らの地域は自らの手で守る」という精神のもと士気高揚を目的に伊佐市陸上競技場で出初式が開催されました。

消防ラッパ隊を先頭に、約400人の消防団員・消防署職員や消防車両などのパレードで幕をあけ、規律訓練、操法訓練、梯子乗りの演技、腕用ポンプ操法、本城幼稚園児による鼓笛演奏が披露されました。

また、消防団活動に功績があった団員・家族等に対する表彰式も行われ、次の方々が受章されました。(敬称略、受章時の階級)



伊佐市消防出初式

平成27年

「もういいかい 火を消すまでは まあただよ」 (全国統一防火標語)



【平成27年消防出初式表彰】

○消防庁長官表彰

永年勤続功労章

福崎和美 (副団長)

瀨之上俊典 (第1分団分団長)

○日本消防協会表彰

精績章

井上修二 (副団長)

○鹿児島県消防協会始良伊佐支部長表彰 (15年勤続)

部長表彰 (15年勤続)

吉松直樹 (第10分団分団長)

中村守男 (第6分団副分団長)

橋脇礼 (第1分団団員)

坂口泰宏 (第1分団団員)

生駒泰志 (第2分団団員)

大山博喜 (第6分団団員)

島内雅史 (第6分団団員)

前田武志 (第7分団団員)

坂元初実 (第8分団団員)

長岡達朗 (第10分団団員)

丸山春樹 (第12分団団員)

緒方裕二 (第13分団団員)

○市長表彰

退任消防後援会長

前野博行 (元町班)

水野昭信 (諏訪班)

片牧計 (青木班)

羽田武廣 (尾ノ上班)

山下廣文 (第8分団)

畦元敦夫 (第9分団)

30年勤続章

古城孝一郎 (第9分団団員)

25年勤続章

下城正剛 (第12分団分団長)

澤津寿久 (第14分団副分団長)

川崎幸二 (第8分団団員)

今釘浩二郎 (第10分団団員)

20年勤続団員の家族

竹原研二 (第15分団分団長)

前田茂寿 (第8分団副分団長)

谷口和彦 (第13分団副分団長)

森山裕樹 (第1分団班長)

吉野克彦 (第6分団班長)

大野美智人 (第11分団班長)

脇迫修二 (第12分団班長)

濱田健二 (第5分団団員)

長岡秀光 (第6分団団員)

川口俊二 (第7分団団員)

長岡慎一 (第10分団団員)

園田辰三 (第14分団団員)

森岡浩二 (第14分団団員)

米満陽一 (第17分団団員)

有川芳久 (第17分団団員)

15年勤続章

吉松直樹 (第10分団分団長)

亀居修一 (第2分団班長)

坂口泰宏 (第1分団団員)

池畑悟史 (第1分団団員)

寺地史生 (第4分団団員)

森山誠 (第4分団団員)

橋本貴宏 (第6分団団員)

長岡達朗 (第10分団団員)

大野道治 (第11分団団員)
丸山春樹 (第12分団団員)
酒瀬川幸 (第14分団団員)
10年勤続章

小田原宏 (第1分団団員)
竹之内信二 (第1分団団員)

神田顕正 (第2分団団員)
上田次郎 (第4分団団員)
有郷豊喜 (第6分団団員)

有満隆明 (第6分団団員)
前田慎一 (第7分団団員)
帖佐秀雄 (第8分団団員)

原田一男 (第9分団団員)
黒木幸彦 (第10分団団員)
砂田健一 (第11分団団員)

安田哲郎 (第11分団団員)
中間弘典 (第12分団団員)
福田友和 (第13分団団員)

瓦勇治 (第15分団団員)
久保田慶久 (第16分団団員)

○**団長表彰** (5年勤続章)

前田正悟 (第10分団副分団長)
永田誠二 (第1分団団員)
山中宏樹 (第2分団団員)
山田尚洋 (第2分団団員)
緒方慎也 (第5分団団員)
成影健一郎 (第5分団団員)
平出水一文 (第6分団団員)
栗巢和成 (第6分団団員)
梶木保典 (第7分団団員)
木ノ下耕吉 (第8分団団員)



福本大輔 (第8分団団員)
宮ノ原大 (第8分団団員)
恒吉雄太 (第9分団団員)
井之上崇 (第12分団団員)
緒方一秀 (第13分団団員)
西卓朗 (第14分団団員)

〔平成26年表彰〕

○**日本消防協会表彰**
勤続章 (30年勤続)

徳永哲朗 (第2分団長)
米澤公信 (第7分団長)
久木田和美 (第14分団長)

○**県消防協会表彰**

功績章 (20年勤続)
出水隆一 (第6分団長)
曾木敏郎 (第1分団副分団長)
村岡敏徳 (第10分団副分団長)

宮原弘通 (第1分団班長)
坂元裕二 (第8分団班長)
末吉浩一 (第11分団班長)
原口正和 (第14分団班長)

山之上茂 (第9分団団員)
外山哲朗 (第9分団団員)
森岡浩二 (第14分団団員)

有川芳久 (第17分団団員)
精績章 (15年勤続)

長谷川守 (第5分団副分団長)
中山浩近 (第3分団班長)
長野正 (第15分団班長)

吉永好郎 (第17分団班長)
高松賢一郎 (第1分団団員)

中野祐一 (第4分団団員)
内村武人 (第5分団団員)
平江久人 (第7分団団員)
丸山賢 (第12分団団員)
内園田健作 (第13分団団員)
竹内幸男 (第14分団団員)

○**県知事表彰**

40年勤続章
中越勇 (団長)

10年勤続章
宮下三郎 (第17分団副分団長)
西別府丈弥 (第3分団団員)
大宮司和樹 (第4分団団員)

酒匂嘉之 (第6分団団員)
二渡直規 (第12分団団員)
福永慎一郎 (第17分団団員)

○**退職消防団員報償** (銀杯)

1号 (25年以上勤続)
井上修二 (元伊佐市消防団員)
瀧ノ上俊典 (元伊佐市消防団員)

久木田和美 (元伊佐市消防団員)
長野久明 (元伊佐市消防団員)
角光博 (元伊佐市消防団員)

道川内睦男 (元伊佐市消防団員)
2号 (15年以上25年未満勤続)

松元政文 (元伊佐市消防団員)
福元俊朗 (元伊佐市消防団員)
橋口博文 (元伊佐市消防団員)

国民文化祭まで 300 日を切りました



国民文化祭とは、全国各地で行われる文化活動を全国的規模で発表、競演することで、国民の文化活動への参加の気運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを目的に、昭和 61 年度から毎年、各都道府県持ち回りで開催されている国内最大の文化の祭典です。今年は 11 月に鹿児島県で開催されます。

伊佐市の児童が国民文化祭・かごしま 2015 作文コンクール「最優秀賞」受賞

作文テーマ「国民文化祭～わたしにもできるおもてなし」に、県内各地から小学校下学年 366 点・上学年 516 点、中学生 749 点、合計 1,631 点の応募がありました。

その中の小学校下学年の部で、伊佐市立山野小学校 2 年の鶴蘭景（つるぞのひかり）さんが「第 30 回国民文化祭鹿児島県実行委員会会長賞（最優秀賞）」を獲得しました。受賞作品を紹介します。



作品タイトル「わたしのおもてなし大きくせん」

山野小 2 年 鶴蘭景

かごしま国文さいのピーアール動画を、家ぞくみんなで見ました。わたしが今まで見たことがないもの、行ったことがないでしょ。そして、たくさんの人たちのえがお。わくわくがとまりません。わたしは、動画を何回も何回もくりかえし見てしまいました。「この楽しそうな動画を、たくさんの人たちにしょうかいしたいな」と思いました。

わたしは音楽が大好きです。ピーアール動画にながれている曲もお気に入りです。カサリンチュさんの「タイムカプセル」というこの曲は、かごしま国文さいのイメージソングになっているそうです。この曲の CD が、かごしまのたくさんの方の学校にくばられたという話を聞いて、学校の先生にたずねてみました。すると、なんとわたしの学校にも CD がとどいていました。わたしはさっそく、ほうそういん会に、曲をリクエストしてみました。きゅう食時間に、「タイムカプセル」が学校中にながれました。ちよっぴりはずかしかったけど、とてもうれしかったです。みんなにもこの曲をすきになってほしいです。

かごしま国文さいには、たくさんのおきゃくさまが来てくださるそうです。おきゃくさまにかごしまのことをすきになってほしいので、わたしはおもてなしを考えてみました。

やっぱり、いちばんのおもてなしはえがおだと思います。

はっぴょうを見ている人も、おうえんしている人も、にっこりえがお。みんながうれしい気持ちになると思います。

学校でならったふわふわ言葉もたいせつにしたいです。ふわふわ言葉というのは、「ありがとう」「上手だね」「楽しかったね」のような、言われた相手が気持ちよくなる言葉のことです。おきゃくさまに、ふわふわ言葉で話しかけたら、きっとよろこんでもらえると思います。もちろん、あいさつもすすみたいです。

そして、かごしまに来て、すてきなはっぴょうをしてくださった人たちに、はくしゅをプレゼントしたいです。大きなはくしゅで、「ありがとう」の気持ちをつたえたいです。

「にっこりえがお」「ふわふわ言葉」「大きなはくしゅ」これが私のおもてなし大きくせんです。かごしま国文さいに来てくださった人たち、おむかえするかごしまの人たちみんながえがおになれるように、今日からおもてなし大きくせんをスタートさせたいです。

作文中に登場する「PR動画」及びイメージソング「タイムカプセル」は、『かごしま国文祭』公式ホームページ (<http://kagoshima-kokubunsai.jp>) で視聴できます。

国民文化祭に参加しませんか！～国民文化祭期間限定一座「劇団いさ」劇団員募集中～

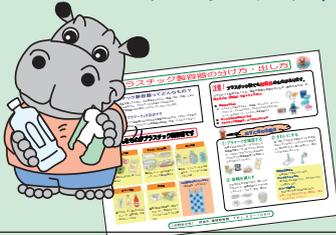
かごしま国文祭伊佐市主催事業「いさ演劇祭」に出演＆裏方で参加してくださる人を募集しています。

対 象 小学 4 年生以上で今年 11 月の本番まで継続して稽古に参加できる人（演劇未経験者も大歓迎）

※ 稽古日程等や「いさ演劇祭」の詳細はお問い合わせください。

問い合わせ先 国民文化祭伊佐市実行委員会事務局（文化スポーツ課内） ☎ 23 1 3 1 1

プラスチック製容器の分け方・出し方



最近、プラスチック製容器の分別がなされていないごみ袋が見られます。ごみの分別ルールを守って、正しい分け方・出し方にご協力をお願いします。詳しくは、「プラスチック製容器の分け方・出し方」をご確認ください。

プラスチック製容器

ボトル類



洗剤、シャンプーの容器など（ペットボトルを除く）

カップ・パック類



食品トレイ、卵や豆腐のパック、カップ麺の容器など

ふくろ類



お菓子などのポリ袋、レジ袋など

チューブ類



マヨネーズ、練りわさび、歯磨き粉、化粧品チューブなど

その他



電化製品の緩衝材（発泡スチロール）、商品のラップ、ペットボトルのラベルやふたなど

このマークが目印



※ 指定袋で出してください

●プラスチック製でも対象外のものがあります。

プラスチック製品であっても、商品の容器や包装でないもの（商品そのもの）は、燃えるごみ（透明袋）で出してください。

◎商品そのもの

例) プラスチック製のおもちゃ、洗面器、ポリバケツ、タッパー、プラケース、CDやビデオテープなどのケース、めがねケース、コンタクト保管容器など

◎洗っても汚れが取れないもの

◎プラスチック製容器か、わからないもの



時間と曜日を守るうね!

ゴミ集積所



出すときの注意

- ① プラマークを確認する
- ② きれいにする（軽く水洗いし、乾かす）
- ③ 容積を減らす（軽くつぶす・割る・重ねる）

問い合わせ先 環境政策課環境保全係 ☎21060

生徒用机・椅子（木製）をお譲りします

現在大口中学校で使用している生徒用机・椅子を廃棄します。必要な人は、次の事項を確認のうえお申し込みください。

個 数 机・椅子各 250 個

- 条 件**
- ①原則伊佐市に居住している人
 - ②受渡日時に必ず引き取れる人
 - ③積み込み、運搬を自分でできる人
 - ④申込み先着順

申込方法 必要個数、氏名、連絡先をお知らせください。

申込時間 8時30分～17時 ※土・日、祝祭日を除く。

申込期限 3月10日（火）

受渡日時 3月26日（木）9時～12時（時間指定）

受渡場所 大口中学校多目的教室

申込・問い合わせ先 教育委員会総務課総務係 ☎②6 1 5 1 2



学童疎開に関する資料を探しています



伊佐市は、西之表市・喜界町と姉妹都市盟約を結んでいます。その縁は、戦時中に学童疎開で両市町の小学生を受け入れたことから始まり、西之表市と旧大口市及び旧菱刈町は昭和37年11月に、喜界町と旧菱刈町は昭和40年12月に盟約を結び、現在まで友好関係が続いています。

戦後70年を迎えるにあたり、姉妹都市の起因となったこの事実を風化させないように後世に語り継ぎたいと考えています。

当時の写真や資料を貸していただける人や、疎開の受け入れ家庭で当時のことをお話しいただける人はぜひご連絡ください。

問い合わせ先 総務課行政係 ☎②3 1 3 1 1

第75回国民体育大会（鹿児島国体）の愛称・スローガンを募集

平成32年（2020年）に本県で開催される第75回国民体育大会（鹿児島国体）の愛称とスローガンを募集中です。

募集期限 2月23日（月）

- 募集作品**
- ①愛称（鹿児島国体の名前・呼び名）
 - ②スローガン（鹿児島国体の趣旨や目的、鹿児島国体に向けた思いを印象づける言葉・キャッチコピー）

賞・賞金 最優秀賞1作品：賞状、賞金5万円、記念品

優秀賞3作品：賞状、賞金1万円、記念品

応募方法 はがき、FAXまたはインターネット（専用応募フォーム）

※ 詳しくは、県ホームページ（<http://www.pref.kagoshima.jp/>）をご覧ください。

応募・問い合わせ先 第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会事務局愛称・スローガン募集係

☎099・286・2865



浄化槽法定検査(浄化槽法第11条)受検のお願い

合併浄化槽または単独浄化槽を設置している家庭は定期的に受けなければならない法定検査です

この検査は、浄化槽が適正に維持管理されているかを調べるもので、県知事が指定した検査機関である(公財)鹿児島県環境検査センターの検査員が浄化槽の放流水の採水と現場での検査を行います。

※(有)大口伊佐清掃社が行う保守点検・清掃とは別のものです。

▶ 10人槽以下の家庭用の合併浄化槽・単独浄化槽 現在はおおむね3年に1回検査

▶ 11人槽以上の合併浄化槽・単独浄化槽 毎年検査

※ 検査時期は事前に封書・ハガキで通知します。

検査手数料(5~10人槽)

検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査	4,000円	6,000円

問い合わせ先

(公財)鹿児島県環境検査センター ☎099・296・9000

☎ http://www.kagoshimakensa.or.jp

県生活排水対策室 ☎099・286・3685

環境政策課環境保全係 ☎②1060

私が検査に伺います。浄化槽に関することは何でも相談ください。



伊佐市役所駐在検査員 大町盛一郎

宝くじ助成金で屋外放送設備を設置

荒平自治会および小川内自治会に、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業で屋外放送設備が設置されました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的にさまざまな活動に対して助成されます。



屋外放送設備

荒平自治会



放送基地局



屋外放送設備②



屋外放送設備①

小川内自治会



放送基地局



MBCのチャンネルで **d** ボタンをピッ!

市からのお知らせやイベント情報などの最新情報がすぐに見られる!
問い合わせ先 伊佐PR課交流PR第1係 ☎②4113



まちの話題



伊佐はいーさ ～故郷と共に歩み続ける未来～



1月3日、大口ふれあいセンターで「平成27年伊佐市成人式」が開催されました。

式典では和太鼓衆鼓動塾による力強いオープニング演奏の後、森教育長が「若さは未来への可能性です。若者らしく『希望』を持って生きていってください」と激励しました。

今年成人を迎える323人を代表して、山口和馬さんが「20歳の抱負」を述べ、実行委員数名が、「わたしたちの未来」をテーマに10年後の夢を発表しました。

会場は、友人と久しぶりの再会を喜ぶ新成人の姿であふれ、賑やかな雰囲気でした。



第36回菱刈剣道大会



1月12日、第36回菱刈剣道大会が、菱刈農業者トレーニングセンターで行われました。県内外から93チームが参加し、日頃の修練の成果を競いました。

試合結果は次のとおりです。

小学生男子の部 (42チーム)

- 優勝 日当山剣道(霧島市)
- 準優勝 加世田剣道スポーツ少年団(南さつま市)

- 第三位 太陽少年剣道クラブ(鹿児島市)
- 南月少年剣道クラブA(鹿児島市)

小学生女子の部 (14チーム)

- 優勝 出水剣友スポーツ少年団(出水市)
- 準優勝 高尾野剣道スポーツ少年団(出水市)
- 第三位 南月少年剣道クラブA(鹿児島市)
- 下水流剣道スポーツ少年団(出水市)

中学生男子の部 (23チーム)

- 優勝 垂水中央中学校(垂水市)
- 準優勝 高岡中学校(宮崎市)
- 第三位 日当山中学校(霧島市)
- 上市来剣道スポーツ少年団(日置市)

中学生女子の部 (14チーム)

- 優勝 南月少年剣道クラブ(鹿児島市)
- 準優勝 野田中学校(出水市)
- 第三位 三松中学校A(小林市)
- 城西中学校(鹿児島市)

伊佐においでよ



12月12日に伊佐農林高校生の企画による実習体験バスツアーが実施されました。

鹿児島中央駅を出発したバスツアーの参加者20人を高校生がおもてなし。日頃の実習成果を発揮する場となりました。

ツアー参加者は、木工体験、クリスマスリースづくりなどを体験し、高校生が手作りしたピザの昼食、野菜の収穫体験などアットホームな雰囲気の中、高校生とのふれあいを楽しみました。

午後は、高校生がガイドになり曾木の滝や発電所遺構を案内するなど、盛り沢山のツアーとなりました。

今年1年が希望に満ちた年となりますように



針持にある羽神社（はじんじゃ）には毎年元旦に販売される色紙のお守りがあります。



色紙には毎年、干支の絵が描かれており、今年は伊佐市針持出身の画家、市来功成さんが羊を描きました。

また、書かれている文章は針持小学校の宮田先生によるもので、「今年一年も素晴らしい年になるように」と願いが込められています。

1本のタスキに思いを込めて



第28回県地区対抗女子駅伝競走大会（1月25日）と第62回県下一周市郡対抗駅伝競走大会（2月14日～18日）の伊佐チーム合同結団式が1月14日、大口ふれあいセンターでありました。

隈元市長は「日頃の練習の成果を信じて、悔いのない走りをしてほしい」と激励しました。

また、選手代表の中條幸大選手と寄川美咲選手が「粘り強く走ります」と宣誓し、大会での健闘を誓いました。

※ 県下一周駅伝の伊佐市通過は2月16日です。

ドライブレコーダー搭載車出発式



市の公用車120台にドライブレコーダーが搭載され、12月16日に出発式を行いました。走りながら周辺の映像を自動録画できることから、事故防止や犯罪抑止、子どもや高齢者の見守りカメラとしても活躍しそうです。

機器は、製造元ユピテル（安楽憲彦社長：伊佐市出身）から導入しており、出発式に出席した遠藤定義取締役は、「安心安全なまちづくりに貢献できてうれしい」とあいさつしました。

針持橋 開通式



1933年に架けられた旧針持橋は、河川拡幅のため昨年1月に撤去され架替え工事を進めていました。工事途中には、針持小児童9人の記念手形が設置されるなど、地元可愛さ、生活に必要不可欠な橋です。

1月19日、完成を待ち望んでいた新針持橋の開通式が行われ、針持小児童や地元老人クラブのメンバーらが渡り初めし、開通を祝いました。

南三陸町長 伊佐市訪問



宮城県南三陸町の佐藤仁町長が1月9日、伊佐市長を訪問しました。

平成23年の東日本大震災の際、復興支援のため職員派遣や物資提供をしたことをきっかけに、今回が3度目の来市でした。

来月で震災から4年。佐藤町長は、ハード事業などはあと1～2年で区切りがつきそうだと、復興の状況を伝えました。

現在伊佐市からは3人の職員を派遣しており、そのお礼と支援の継続を求めました。

派遣職員による連載記事「南三陸だより」は14頁に掲載しています。

菱刈小学校 「ありがとう学び舎」



昭和33年から34年に掛けて建設され、これまで3,784人の卒業生を送り出してきた菱刈小学校の校舎が、新校舎建設のため解体されることになり、12月16日に岩切校長による「お別れ授業」が開催されました。

生徒は、同校の卒業生など約30人と6年生の児童たち。「昔を今につなぎましょう」というテーマで、写真やエピソードをまじえた授業に聞き入り、学生時代の気持ちに返ったようでした。

教室にはこれまでの卒業アルバムが並べられ、卒業生たちはアルバムを手に取り懐かしさに浸っていました。

本寄贈



伊佐市の企業・団体等の市民を対象に行われた、次世代を担うリーダー養成講座「平田塾」の塾長で南島詩人「平田大」氏から市内3高校に本を寄贈していただきました。

3高校の生徒は、次世代のリーダー育成事業の一環として沖縄感動体験などを経験し、ふるさとを誇りに思い、新たな伊佐の魅力を発信するリーダーとなるべく、学びを続けてきました。

平田氏の熱いメッセージが込められた本は、生徒たちに新たな感動を与えてくれることでしょう。

交通安全信号餅つき



12月24日、大口東小学校で交通安全信号餅つき大会が開催されました。

今年で25回目となるこの行事には、伊佐警察署、交通安全協会、校区コミュニティ協議会、大口東小の皆さんが参加しました。

幼児学級と小学校の児童たちは、杵と臼を使って、白餅と信号の色になぞらえた赤、緑、黄色の餅をつきました。

正月の準備を楽しみながら、冬休みを前に交通安全への意識を高めました。

薩摩中央家畜市場で 子牛の初せり市



県内のトップを切って1月6・7日、さつま町の薩摩中央家畜市場で子牛の初せり市が開催されました。

528頭（雌235頭、去勢293頭）の売却が成立。

1頭当たりの平均価格は58万8,006円で、最高値は雌94万1,000円、去勢89万円でした。

特別展「ガウディ × 井上雄彦」 見学会



12月25日、長崎県美術館で開催中の特別展「建築家・ガウディ × 漫画家・井上雄彦」の見学会に36人の参加がありました。

井上雄彦氏は伊佐市出身の日本を代表する漫画家で、会場には原画約40点が展示されています。これだけ多くの原画が一度に展示されることは非常にめずらしく貴重な機会となることから、伊佐市民を対象に教育委員会が見学会を計画しました。

参加者は、迫力ある原画や建築家・ガウディの貴重な資料等を熱心に見学していました。

特別展は、長崎県美術館で3月8日（日）まで開催中です。

餅花「めのもち」



1月15日の小正月に継承されている伝統行事の一つに「めのもち」飾りがあります。全国的にも珍しい米俵と飾った「めのもち」が、今年も内田一さん（農林高通・82歳）宅の床の間にお目見えです。

一さんの父である義光さんから数えると100年あまり、内田家の恒例行事にとどまらず、県内外からお客さまが訪れるほど有名で、40kgの餅を妻の保子さんら家族総出で飾り付けました。

特別に自家栽培したワラを使って、一さんが手づくりした米俵から伸びる榎（エノキ）に800個の餅の花が美しく咲き、それを眺めながら今年の豊作を祈りました。



高齢者の交通事故が多発

昨年の県内交通事故死者数は94人と前年より増加し、その内、高齢者の死者数は全体の半数以上を占めるなど、県内を取り巻く交通情勢は極めて厳しく、特に高齢者の交通事故防止対策が急務となっています。



伊佐市においても、昨年発生した69件の人身事故の内、42件が高齢者の関係する事故で、2人の高齢者がお亡くなりになりました。

歩行者の交通事故防止ポイント

○夜間外出する時は、明るい服装を心がけるとともに、夜光反射材を着用

○道路を横断する時は、必ず右・左を見て、車が来ないことを確認してから横断し、道路中央付近でもう一度左を確認

運転者の交通事故防止ポイント

○車を運転する時は、しっかりと前を見て運転

○車を運転する時は、運転に集中し、操作は慎重に

○車に乗る時は、全席シートベルトを着用

○運転に不安がある時は、運転免許の自主返納を検討

県内の交通事故 (平成26年1月1日～12月31日・概数)

発生状況	発生件数	死者数	負傷者数
	8,421	94	9,883
高齢者事故	3,123	58	1,984
前年対比	- 84	+ 10	- 147

管内の交通事故 (平成26年1月1日～12月31日・概数)

発生状況	発生件数	死者数	負傷者数
	69	2	77
高齢者事故	42	2	31
前年対比	- 9	0	- 5

問い合わせ先 伊佐警察署 ☎0110



黄色いリボン^⑦ 平成27年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズ募集

募集テーマ

「身近な女性の活躍を地域ぐるみで応援するキャッチフレーズ—女性の力を活かして元気な地域社会をつくるために—」



▲平成26年度 最優秀作品

暮らしやすく元気な地域社会をつくるためには女性の活躍・リーダーシップが必要です。これまで男性目線と考えていたことに発想の転換が生まれ、活力ある地域づくりが期待されます。身近な女性の活躍をみんなで応援しましょう。

採用されたキャッチフレーズは、

平成27年度「男女共同参画週間」のポスターをはじめ、さまざまな場面で広報・啓発活動に使用します。多くのご応募お待ちしております。

ただし応募作品は未発表の自作のものに限ります。

応募方法 男女共同参画局サイトのキャッチ

チフレーズ募集ページ (<http://www.gender.go.jp/public/week/week.html>) から、応募フォームに必要事項を入力してご応募ください。

応募期限 2月28日(土)

2月の「女性サロン室」

あなたが自分らしく生きるために、一緒に考えます。

開催日 2月4日(水)・18日(水)

時間 13時30分～16時

場所 大口仲町旧安楽ヨシ子様宅

女性サロン室連絡先

☎090・3016・3660

問い合わせ先 企画政策課共生協働推進係 ☎1311



ノロウイルスによる食中毒や感染症に気をつけましょう

ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は一年を通して発生しますが、11月から翌年2月に流行のピークを迎えます。厚生労働省によると、平成25年2月の患者数は全国で2,218人となり、年間を通し患者数の多い時期となっています。健康な人は軽症で回復しますが、体力の弱い子どもや高齢者などは重症化しやすく、吐いた物を誤って気道に詰まらせて死亡することもあります。ノロウイルスは感染力がとても強く、大規模な集団感染を引き起こす恐れがあるため予防対策が重要です。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療は点滴などの対症療法に限られます。特に子どもや高齢者は、脱水症状を起こしたり体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を

症状

潜伏期間は1〜2日で、主な症状として吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が認められます。発症後、1〜2日ほどで回復し、後遺症もほとんどありません。

感染経路

1 人からの感染

感染している人の便やおう吐物から人の手などを介した場合。

2 食品からの感染

感染した人が調理をし、その汚染された食品を食べた場合。加熱処理が不十分な二枚貝などを食べた場合。

予防方法

感染した人の便やおう吐物には大量のウイルスが含

まれており、乾燥すると空気中に漂い、口に入ると感染（二次感染）することがあります。そのため、人から人への感染を予防する必要があります。予防方法は次のとおりです。

①食前、トイレの後、調理前後、オムツ交換等を行った時は石鹸でよく手を洗いましょう。（石鹸自体はノロウイルスに効果はありませんが、手の汚れを落とすことにより、ウイルスを手から剥がれやすくなる効果があります。）消毒用エタノールはノロウイルスにあまり効果がないと言われています。

②感染している人の便やおう吐物を処理する際には、使い捨てのマスク、手袋、エプロンなどを着用し、ペーパータオル等で飛び散らないよう拭き取りましょう。その後、拭き取った所を塩素系漂白剤で消毒し、水拭きしましょう。拭き取ったおう吐物やマスク、手袋、エプロンなどはビニール袋に密閉し廃棄しましょう。処理を行った後、換気を行うと感染予防により効果的です。

③食材は十分な加熱を行います。（加熱の目安としては、食材の中心部が85〜90度で90秒間以上）また、調理器具は85度以上の熱湯で1分以上の加熱消毒を行います。



南三陸町に派遣されて間もなく2年が経とうとしています。赴任した2年前の町の風景を思い起こすと、随分昔のことに思えます。日々の業務での1か月や2か月はあっという間のことなのに、風景を思い起こすと長い時間の経過を感じるのは、復興により少しずつですが確実に風景が変化しているせいかもしれません。復興の歩みを大まかに書くと、震災ガレキ処理や仮設住宅など応急的事業や復興に向けた事業計画策定が中心の平成23～24年度、順次事業着手が進んだ平成25年度、一部の災害公営住宅や移転団地造成の竣工もあつた平成26年度、ということになります。特に今年度は、町の中心部である志津川地区を商工業用地として大きく高上げる工事が始まったので、変化を如実に感じる1年でした。

それでも、用地嵩上げ工

事のように完成までに時間のかかる事業や、道路や防潮堤など未だ着手できない事業も数多く残っているため、被災沿岸市町では、国に対して集中復興期間の延長を求めています。

(新納誠朗)



平成 27 年 1 月撮影



平成 25 年 9 月撮影

写真は町立病院建設予定地に向かって撮影したものです。



伊佐の味 からだに栄養 食生

おいしいものでいきいき笑顔になる

「色鮮やかに食卓を飾る」

「かごしまのおかず（開港舎）」より

レ シ ピ

〈材 料〉4人分

さつまいも	300g	たまねぎ	100g
ブリ(角切り)	200g	ピーマン	2個
「淡口醤油	大さじ1	「酢	大さじ3
A 酒	大さじ1	淡口醤油	大さじ3
「しょうが汁	小さじ1	B 砂糖	大さじ2
片栗粉	大さじ2	「スープ	100cc
生しいたけ	3枚	片栗粉	適量
にんじん	80g	ごま油	大さじ1
たけのこ	100g		

〈作り方〉

- ①さつまいもはよく洗い、皮のまま乱切りにして素揚げする。
- ②野菜はすべて乱切り、にんじんは茹でておく。
- ③ブリはAにつけ、片栗粉をつけて180℃の油で揚げる。
- ④中華鍋に油を熱して野菜を炒め、Bを混ぜ合わせて加え手早く混ぜ、さつまいも・ブリをからめて水溶性片栗粉で仕上げる。最後にごま油を入れる。

酢ぶり



酢ぶり

Welcome to Library

図書館へようこそ

【おすすめの一冊】（新刊全点案内より引用）

児童 ねこどんなかお 村上しいこ



（出版：講談社）

ちょっとあたたただけで怒る、またたびをもらってもだえる、おならの音を聞いて笑う…。あんな顔やこんな顔。ねこって、ほんまにおもしろいなあ。ねこのさまざまな表情や動作が楽しい絵本。

一般 月光のスティグマ 中山七里



（出版：新潮社）

このスティグマ（傷痕）にかけて俺が一生護る…。月夜に誓った美少女との再会が、愛欲と疑念の始まりだった。阪神淡路大震災と東日本大震災に翻弄された孤児の命運を描く、恋愛サスペンス。

【2月の図書館カレンダー】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

■ は休館日

○ はイベント

開館時間 火～土：9時～18時

日・祝日：9時～17時

【図書館へ献本】

I S A R T（地域おこし団体）

【今月の新刊本（抜粋）】

【 児 童 】	
トロールとにひきのいたずらこやぎ	松居スーザン
おぞうにくらべ	宮野聡子
ねこ探！	村上しいこ
【 一 般 】	
自滅	柴田よしき
鼠、滝に打たれる	赤川次郎
アンブラッセ	阿刀田高
起き姫 口入れ屋のおんな	杉本章子

【イベント情報】

ふれあいメルヘンひろば

日 時 2月28日（土）10:30～11:00

場 所 大口図書館

内 容 図書館ボランティア「ぎんなん」による大型絵本や紙芝居の読み聞かせ

ブックスタート

日 時 2月28日（土）11:00～11:40

場 所 大口ふれあいセンター

対 象 伊佐市在住の2歳未満の赤ちゃんとその保護者及び出産予定の人。当日は母子手帳が必要。

内 容 絵本の読み聞かせや簡単な遊びなど。初めての人にはブックスタートパックをプレゼント

※ 前日 17 時までに大口図書館へ要予約。

おはなしボランティア

募集中！

子どもとお話の世界
を楽しみたい人なら
どなたでも

問い合わせ先

大口図書館（大口ふれあいセンター内）

☎220417

菱刈図書館（菱刈ふるさといきがいセンター内）

☎263000

お知らせ

人権を考える市民のつどい

日 時 2月8日(日) 受付9時～
9時30分～11時55分

会 場

菱刈環境改善センター多目的ホール

内 容

○オープニングセレモニー「菱刈人権文化センター 小牟田流 五つ太鼓演奏」
○小・中学生人権作文コンテスト優秀作品朗読

○講演会

「揺れ動く子ども達が教えること」

講師 小椋田淳子氏(学校法人津曲学園鹿児島高等学校教育相談担当)

問い合わせ先

市民課人権啓発・市民相談係

☎ 23 1311

パブリックコメント実施

市では、平成27年度から29年度の「第7次高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」を策定中です。これについて市民の皆さまのご意見を広く募集します。

閲覧期間

2月2日(月)～3月3日(火)

閲覧場所

▽健康長寿課(大口庁舎)

▽健康長寿課分室(菱刈庁舎)

▽大口元気こころ館

▽まごし館

▽市ホームページ

応募資格

○市内に在住または通勤、通学している人

○市内に事業所を有する個人または法人

○事業に利害関係を有する人

応募方法

閲覧場所にある所定の様式に意見を記入し、3月3日(火)までに郵送 FAX、メールまたは持参のいずれかの方法で提出してください。

応募・問い合わせ先

〒895-2511

伊佐市大口里1888番地

健康長寿課介護保険係(大口庁舎)

☎ 23 1311・FAX 22 5344

✉ kaigo@city.isa.lg.jp

「子どもたちに伝えよう伊佐地域の食文化」伝承教室

日 時 2月14日(土) 10時～12時

場 所 伊佐農林高校調理実習室

講 師 伊佐農林高校生活情報科2年 生活

コース 生徒15人

伊佐農林高校生活情報科2年 生活

献 立 そば汁、ねったぼ

対象者 市内小学3～6年生 20人

持参品 エプロン・三角巾・上履き・

ミニタオル

申込期限 2月4日(水)

参加費 無料

申込方法

各学校で配付した参加承諾書に記入のうえ、FAXまたはご持参ください。

申込・問い合わせ先

伊佐農林高等学校

☎ 22 1445・FAX 22 1446



子ども安心医療費助成制度

小学校1年生から18歳(18歳到達後の最初の3月31日まで)までの子どもの治療のために支払った医療費の自己負担分を助成しています。

対 象

子どもを監護している合計所得が350万円以下の世帯

①1回の入院が1泊2日以上の場合

退院した月の翌月から6か月以内に

申請

②1年間の医療費の自己負担総額が8万円を超えた場合

翌年の1月から3月末までに申請

※1年間とは1月～12月分

※①で助成を受けた分は対象外

申請に必要な書類

申請に必要な書類

広告

省エネポイントはじまりました。

- ・エコ住宅の新築
- ・エコリフォーム
窓、外壁、屋根、天井床の断熱改修など

※詳しくは、お気軽にお問合せ下さい。

住み継いでゆくの家の造り。

株式会社 **タケシタ**

住所：伊佐市大口小本原899

TEL：0995-22-0425
HP <http://takeshitanoie.jp>
e-mail ytake@takeshitanoie.jp

タケンタの家造り

○医療機関発行の領収書

○子どもの健康保険証

○申請者の振込口座が分かるもの

詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先

子ども課子ども相談係 ☎ 23 1311

春一番による海難防止強調運動

この運動は、春一番等の急激に発達する低気圧に関する危険性を再確認して頂くことにより海難の未然防止と被害の局限を図ることを目的として、2月4日(立春)から3月31日まで実施します。

特にこの期間は、「気象・海象の常

時把握、荒天が予想される場合の出港「自粛」に心がけ、安全運航に努めましょう。

問い合わせ先
(公財)海上保安協会串木野支部
☎0996・32・2362

市民のための健康セミナー

伊佐市地域女性団体連絡協議会、県立北薩病院、伊佐市の合同による健康セミナーを開催します。
医師による講演のほか、医師・薬剤師・栄養士による各種相談や肺年齢検査・骨密度測定・血糖検査・体脂肪測定などの健康チェックを実施します。



日時 2月28日(土) 13時～16時
場所 大口元気こころ館
参加料(検査料) 無料
問い合わせ先
県立北薩病院総務課 ☎228511
健康長寿課健康推進係 ☎231311

平成26年度始良・伊佐地域農業・農村振興大会「いさ・あいらぶ農村塾」

日時 2月10日(火)
13時30分～16時30分
場所 菱刈環境改善センター
大ホール

魅力ある農業・農村づくり事例発表
①都市農村交流による地域の活性化について

②農村女性海外農家体験研修報告
③ツーリズム活動を通じた地域の活性化について

講演

野生動物の生態と被害防止対策
講師 塩谷克典氏(県環境技術協会)
※参加希望者はご連絡ください。
連絡・問い合わせ先
農政課農政第2係 ☎231311

伊佐市認定農業者(農業経営改善計画) 認定基準の見直し

4月1日から、次のとおり見直します。
認定基準
①計画が伊佐市基本構想に照らして適切であること
②計画が農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切であること
③計画の達成される見込が確実であること

年間農業所得 340万円(5年後の目標)
年間農業従事時間 2,000時間
見直し内容
米の生産数量目標達成要件の削除
認定農業者のメリット措置(一部)

①経営所得安定対策の米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)
②経営所得安定対策の畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

新規に認定を受け、平成27年度ナラシ対策・ゲタ対策へ加入したい人は、3月までにご連絡ください。
連絡・問い合わせ先
農政課農政第2係 ☎231311

ひしかりがらっぱスポーツクラブ ソフトバレーボール大会

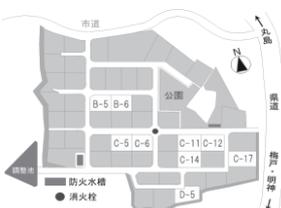
日時 2月28日(土) 受付17時～開会式17時15分
試合開始17時30分
場所 菱刈農業者トレーニングセンター
パート
○混成の部(女性が1人以上)
○女子の部(チーム全員が女性)
参加料 選手1人につき300円
※がらっぱスポーツクラブ会員は無料
申込方法
菱刈環境改善センター及び文化スポーツ課にある申込用紙に記入のうえ、持参またはFAXで申し込みください。
申込期限 2月20日(金)
申込・問い合わせ先
文化スポーツ課スポーツ係
☎261578・FAX261055

広告

住宅用分譲宅地販売のご案内

水俣市内に宅地をお探しの方、お気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ>水俣市土地開発公社(水俣市役所3階都市政策課内)
☎0966-61-1618



区画番号	面積(m ²)	価格(千円)
B-5	261.12	9,998
B-6	260.84	10,173
C-5	260.78	9,976
C-6	260.61	10,382
C-11	260.61	10,169
C-12	260.80	10,182
C-14	261.06	10,082
C-17	303.68	9,914
D-5	310.26	8,538

★うめど太陽が丘団地 分譲地所在: 梅戸町2丁目

- ・地目/宅地 ・用途地域/第1種中高層住居専用地域
- ・建ぺい率/60 ・容積率/200
- ・交通/みなくるバス停留所【祇園神社前】徒歩7分

家づくりの補助金を使って家を建てるとお得です!
【平成26年度】エコ住宅補助金(上限150万円)、太陽光発電設備設置費への補助金(上限30万円)、太陽熱温水器設置費への補助金(上限7万円)などがあります。
(平成26年度分の受付は終了いたしました)

店舗・福祉関係用地もあります! ご相談ください。

●月浦台地福祉ニュータウン
用地所在: 月浦字出月

- ・地目/宅地
- ・用途地域/指定なし
- ・建ぺい率/70
- ・容積率/400
- ・交通/みなくるバス停留所【月浦団地前】徒歩1分

児童扶養手当の受給資格を変更

これまで公的年金を受給する人は、児童扶養手当を受給できませんでしたが、児童扶養手当法の改正により、年金額が児童扶養手当額より低い人は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになりました。

- こどもの養育者（祖父母含む）が低額の老齢年金等を受給している場合
- 父子家庭で、こどもが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- 母子家庭で、離婚後に父が死亡し、こどもが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合

新たに手当を受給するためには、申請手続きが必要です。

申込・問い合わせ先

こども課子育て支援係 ☎23 1311

募 集**伊佐市立幼・小・中学校特別支援教育支援員募集**

業務内容

幼稚園・学校が支援を必要と判断した幼児・児童・生徒への教育支援を担任教諭の指示のもと行う。

勤務日数 年間200日程度

※原則、幼稚園、小・中学校の登校日

勤務時間 8時30分～13時30分
賃 金 時給900円

応募資格

- ①伊佐市内及び近郊市町にお住まいで普通自動車免許取得の人
- ②保育士、幼稚園教諭、教員免許を有する人または、これに準じた能力をもち、子どもと接する仕事や活動に従事したことがある人

募集人員 若干名

応募方法

自筆の履歴書（市販のもので上半身写真貼付）1通を2月17日（火）までに提出してください。郵送の場合は、2月17日（火）必着。

面接日 詳細は後日連絡します。

提出・問い合わせ先

〒895-2701

伊佐市菱刈前目2106

学校教育課指導係 ☎23 1311

学校司書募集**職務内容**

学校図書室を巡回し図書の貸し出し・読み聞かせ・レファレンスサービス・管内整理等図書に関する業務

勤務日数 月17日

勤務時間 8時15分～16時45分

賃 金 月額140,000円

※雇用・健康・厚生年金保険に加入、通勤手当支給

勤務場所 市内小中学校
雇用期間 4月1日～翌年3月31日

※ただし更新あり

募集人員 若干名

応募資格

- 採用後、伊佐市に定住する人で、次の事項に該当する人
- ①昭和40年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人
 - ②図書司書の資格を有する人
 - ③普通自動車免許取得の人
 - ④健康で責任感があり、図書に興味を持っている人

応募方法

自筆の履歴書（市販のもので上半身写真貼付）・司書資格証（写し）各1通を2月13日（金）までに提出してください。郵送の場合は2月16日（月）必着。

面接日 詳細は後日連絡します。

提出・問い合わせ先

〒895-2701

伊佐市菱刈前目2106

教育委員会総務課 ☎23 1311

県立宮之城高等技術専門校入校生募集

訓練科目 建築科（離転職過程）

受付期限 2月27日（金）

応募資格 職業転換を必要とする人

3月に義務教育を修了見込みの人

選考日 3月4日（水）

選考場所 県立宮之城高等技術専門校

選考方法 筆記試験（数学・義務教育修了程度）、面接

合格発表 3月6日（金）

応募手続

入校願書（写真貼付）を大口ハローワークに提出ください。

※卒業証明書または学校調査書等が必要な場合があります。

※入校願書はハローワークまたは当校ホームページから入手できます。

問い合わせ先

鹿児島県立宮之城高等技術専門校

☎0996・53・0207

広告

24時間受付

真心を込めたおもてなし

(有)宮迫産業

みや齋場

『事前相談』承っております

伊佐市大口鳥巢 1234

(代表) TEL 0995-22-0381

誕生



(12月1日～12月25日受付分)

- 精松 忠誠ただたか (啓介・西原)
- 有木 昭斗あきと (貴史・産野)
- 大川 威瑠たける (剛史・前目宇都)
- 添田 龍之介りゅうのすけ (敏弘・小水流)
- 中野 心結こころ (貴志・朝日団地)
- 前田 凪仁なぎと (将年・高校西)
- 山元 陽太ようた (敬太郎・ウッドタウン菱刈)

おくやみ

(12月2日～12月31日受付分)

- 大口地区
- 有川 千代 (東元町)
- 祝迫 ヤメ (下目丸)
- 上原 サチ子 (木ノ氏)
- 江口 サキ (上木ノ氏)
- 坂ノ上 孜 (上元町)
- 竹下 淳一 (大田)
- 永田 信 (上目丸)
- 東 哲二 (戸切)
- 平瀬 ユミ子 (浜里)
- 前原 ミツノ (国ノ十)
- 山野地区
- 梶木 正勝 (平原)
- 下小菌 景義 (石井)

【今月の表紙】



DMAT 出動「久七トンネル防災訓練」

国道 267 号 久七トンネル内での多重衝突事故を想定した、熊本県との合同防災訓練がありました。

訓練には、消防や警察などのほか、2013 年に発足した北薩病院の災害派遣医療チーム「DMAT」が参加。医師や看護師らで組織されており、大規模な自然災害や事故等の集団災害時にいち早く現場に駆け付け応急処置を行います。

救命救急の知識のみならず現場の状況からどのような活動を行うか判断するため高度な技能が要求されます。使命と意思を持った頼れる存在です。

- 羽月地区
- 井ノ上 ケサキク (園田)
- 岡野 スエ子 (須原)
- 岡野 孝照 (下ノ木場)
- 岡村 アサヲ (包ノ原)
- 坂元 キクエ (宮人)
- 瀬戸山 巖 (下殿)
- 東 スエノ (金波田上)
- 松迫 勝 (園田)
- 山之口 恵美子 (包ノ原)
- 西太良地区
- 佐土原 正佳 (釘野々)
- 宮下 チヅ子 (針牟田)

- 米永 ツマ子 (後村)
- 菱刈地区
- 石塚 壽 (田中上)
- 祝田 チカヲ (楠原上)
- 奥 ヒサ (田中下)
- 上村 信男 (前目上)
- 竹牟礼 敏 (徳边上)
- 古川 フヂ (小原松山)
- 前原 巽 (桜馬場)
- 牧内 フミ子 (永池)
- 元山 ヤエ子 (薬師)
- 横山 國子 (町船津田下)

広告

H27.3月3日開院

さわたりクリニック

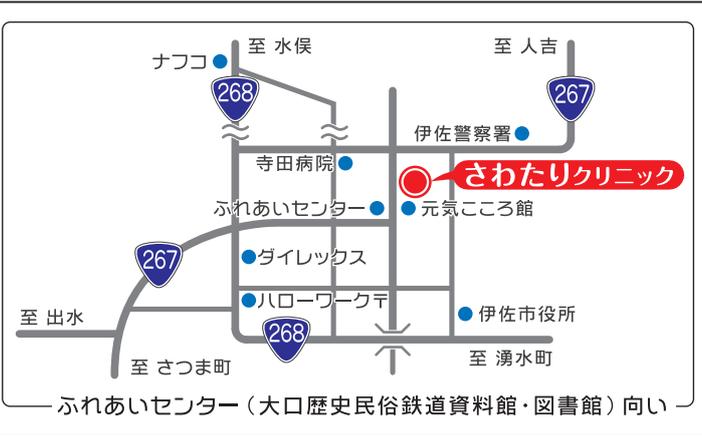
泌尿器科・腎臓内科・内科

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00	○	○	○	○	○	○
12:30						
午後 2:00	○	○	△	○	○	△
6:00						

休診日：水曜日 土曜日 午後・日祝日

院長 佐渡 英三

▲ 0995-22-3322



このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数200文字以内。写真は、1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎④4113
✉ koho@city.isa.lg.jp



公園やお寺の池で可憐に咲く睡蓮を自分で育ててみたいと思いませんか。私は家の庭を開放して水生の植物をたくさんの方に観賞していただいています。お客さまからは、育て方を知りたいとか苗を分けて欲しいという要望があります。それなら全部まとめてお応えしようと思いい、2月中旬から1か月ほど毎日、植え付け方法をお教えます

最近、穂だれひきをする家は少ない。年末の餅より少し多めに塩を入れた餅をエノキに刺して、軒下や神棚に飾って豊作を祈願する。この日は大きな鍋に野菜、魚など切らずに煮て、柳の箸で食べていた。囲炉裏の灰の上では鏡餅を焼いて食べた。古くからの行事にはそれぞれ、いわれや人々の生きてきた証がある。
故郷を離れて暮らす親戚や知人に行事の写真などを送ると、懐かしく楽しみだと喜びの返信がきた。こちらも嬉しく心がなごむ。
(羽月西 大王神社 60代)

「穂だれひき」いつまでも残したい1月の風物詩ですね。水生植物園さんの投稿に関するお問い合わせは、伊佐PR課まで。



今年で2回目の「めのもち」づくり。子どもから大人まで粉まみれになりながら餅花と笑顔を満開にしました。
(曾木 曾木コミュニティ 40代)

ることにしました。苗や道具は揃っています。一緒に睡蓮の鉢植え栽培に挑戦しませんか。いつでもどうぞ。
(羽月 水生植物園 70代)



人口のうごき
(住民基本台帳から)

H27. 1. 1 現在 (前月比)

総人口	28,186人	(- 62)
男	13,050人	(- 25)
女	15,136人	(- 37)
世帯数	14,020世帯	(- 20)

飽食の時代で食べ物に対する感謝の気持ちを忘れがちですが、取材を通して豊作を願ったり感謝したりする機会を与えられ、受け継ぐ方々の思いに触られたような気がします。
これからも正しく継承していくために伝統行事を支える皆さんの活動を広くお伝えしていきます。

出初式の「梯子乗り」や各地で行われた「鬼火焚き」、「もぐら打ち」と「穂だれひき」など、年明けには数多くの伝統芸能・行事がありました。伝統を守ることは大変難しく、その由来や意義、先人たちの思いなどが徐々に薄れ、形式ばかりになってしまわないよう「伝統を受け継ぐ心構え」も大切だと思います。
伝統行事の場には子どもたちの姿がよく見られました。行事への参加を通して受け継ぎ方も学び「古きよき伝統を守っていきたい」という意志が芽生えてくれることでしょう。



編集後記